

●Kanagawa 神奈川ネットワーク運動・鎌倉  
NET まちづくりレポート

発行 2014年7月18日 No.125

神奈川ネット



市議 三宅真里  
教育子ども常任委員会副委員長



市議 保坂れい子  
総務常任委員会副委員長

カンパとボランティアの活動/問題解決はミニフォーラムで

見解 集团的自衛権行使容認の撤回を求めます

政府は7月1日の閣議で、歴代の政権が「権利を保有していても行使できない」としてきた集团的自衛権の行使を容認する憲法解釈の変更を決定しました。密接な関係にある他国へ武力攻撃が行われ、日本国民の生命や権利が根底から覆される明白な危険がある場合、という与党が示した要件が、武力行使に厳格な歯止めをかけたものとはとても考えられません。日本が他国のために武力行使をして対戦国から敵国と見なされれば、国民の命を危機にさらすことになるのは明白です。「集团的自衛権の行使容認で国民の命を守る」というのは全くの詭弁です。

鎌倉市議会は、6月定例会最終日に、「閣議決定により集团的自衛権行使を容認する憲法解釈の変更を行わないよう求める意見書」を賛成多数で採択しました。国家権力を制限し、国民の人権を守るのが憲法の本質的役割であるとする立憲主義の立場から、憲法の解釈変更が一内閣の恣意に任せられることがあってはならない、と明言した意見書です。全国1788自治体のうち、6月末現在で約200もの地方議会が反対、慎重な対応を求める意見書を採択しています。憲法の根幹を揺るがし、安全保障政策の歴史的転換をはかろうとする政府の動きに対し、黙ってはいけないと地方議会が危機感を募らせた結果です。

政府は関連法案の策定・改正作業を急ぐ構えですが、国会での法案審議の中で閣議決定の論理的破綻が明らかにされるべきです。法曹界からは、憲法が国の最高法規であるとうたった98条を根拠に、閣議決定は違憲であり無効である、という指摘がされています。私たちは、あきらめることなく、詭弁だらけの憲法解釈の変更を許さないという意味を示していきます。

問題だらけのごみ有料化には反対！

神奈川ネットが違法性を指摘して取り下げられたごみ有料化の条例が、6月議会で再提案され、僅差で可決しました。条例によれば、来年1月15日から、資源化する物と危険・有害な物を除く家庭系一般廃棄物を有料の指定収集袋で出すこととなります。神奈川ネットは、この条例に反対しました。



市議 保坂れい子

■有料化は失政のつけ

現ごみ処理基本計画は、生ごみ資源化施設の代替案として、2カ月余りの急ごしらえで市長が職員に作らせたものです。当初の計画では、約1万4000トのごみ減量が示されました。議会の反対をよそに市長が強行して進めてきた結果、多くの施策は失敗し、ごみの減量化を図るとして有料化に舵を切ることになりました。失政のつけを市民に押しつけるものです。

■有料化実施でも3万トを切らない

今泉クリーンセンターでの焼却を終え、名越1カ所での焼却になる2015年度には、年間焼却量を3万ト以下にしなければなりません。しかし、有料化実施後の試算を質したところ、3万1637トとの回答で、3

■戸別収集の見積りを隠へい？

ごみ処理基本計画では、戸別収集と有料化はセットになっています。戸別収集に係る経費は莫大で、有料化による手数料収入を見込んで、市は7100万円

の赤字と説明してきました。しかし、実際には業者が7億円の赤字と見積もっていることを市は隠へいしていました。昨年12月議会で、戸別収集は市民の理解が得られていないとして先送りになりました。しかし、方針転換の最大の理由は、杜撰な経費見積もりにあったわけ

です。3千余世帯で先行実施されている戸別収集は、委託費だけで

■有料化の収入は 何に使うの？

有料化で得られた収入の一部は廃棄物処理施設建設基金に積立てるとされています。有料化を先行させた後、経費のかかる戸別収集を実施しなければ、年間3億7646万円の収入が見込まれます。施設整備計画を明確に示し、基金の積立て計画も

明らかにしなければなりません。それなしでは、市民の理解は到底得られません。

■事業系ごみはもっと減る

資源物を分別せずに排出する事業者があり、路上で収集業者

新焼却炉4候補地選定

- ①野村総合研究所跡地
- ②深沢地域総合整備事業区域内市有地
- ③山崎浄化センター
- ④深沢クリーンセンター

■新焼却炉の整備を急げ

現在の場当たり的なごみ処理基本計画に基づいて、目先の判断だけで有料化を実施すべきではありません。新焼却炉の候補地4カ所は公表されたばかりで

が分別している姿が散見されます。他市からのごみの搬入も発生しました。排出事業者への指導の必要性は、これまでも度々指摘してきたところです。市民への負担を強いる前に、排出事業者に分別徹底を求めるべきです。

す。10年後、20年後を見据えたごみ処理計画を立て、新焼却炉の整備を急がなくてはなりません。市長がビジョンを示せないことがごみ処理政策に混乱を招いており、その責任が問われます。



議決結果と賛否一覧 (○:賛成、×:反対、退:退席)

議案	会派名	鎌倉夢プロジェクトの会	みんなの鎌倉	公明党	鎌倉みらい	草莽の会	日本共産党	神奈川ネット	自由民主党	無所属
ごみ有料化条例(※1)	議決結果	高橋浩司 日向慎吾 永田磨梨奈	小野田康成 久坂くにえ 河村琢磨 中村聡一郎 渡辺隆	大石和久 西岡幸子 納所輝次	山田直人 池田実人 前川綾子	岡田和則 長嶋竜弘 渡邊昌一郎	吉岡和江 赤松正博	三宅真里 保坂れい子 中澤克之	上畠寛弘 千一 竹田ゆかり	松中健治
集团的自衛権意見書(※2)	採択	○ ○ ○ ○	× × ×	退 退 退	○ ○ ○	退 × ×	○ ○	○ ○	× ×	○ ○ ○

(※1) 議案第13号 鎌倉市廃棄物の減量化、資源化及び処理に関する条例の一部を改正する条例の制定について  
(※2) 議会議案第2号 集团的自衛権行使を容認する憲法解釈についての意見書の提出について